工業の概況

～平成２８年経済センサス‐活動調査　製造業に関する確報集計※　より～

※平成28年6月1日に実施された「平成28年経済センサス‐活動調査」のうち、製造事業所について「長崎県の工業」との時系列比較を行うために県で集計したものである。

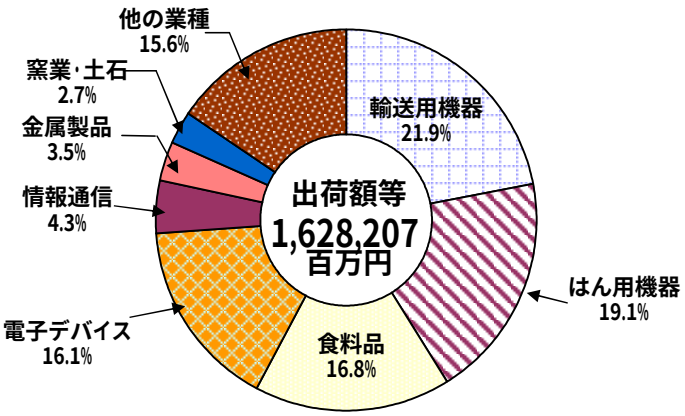
平成27年の本県の生産活動を見ると、製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）は、１兆６,２８２億７００万円で、前年に比べて６５７億１,３００万円（４.２％）の増加となった。

これを業種別に見ると、最も増加した業種は、はん用機械器具製造業９１９億８,６００万円（増減率４２.０％）、次に、食料品製造業の２３５億円（同９.４％）プラスチック製品製造業は５８億５,６００万円（同３９.７％）など１４業種で増加した。

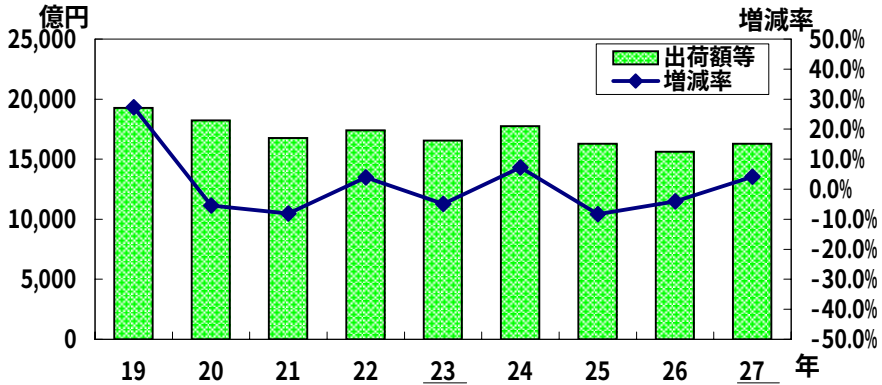
一方減少した業種は、電子部品・デバイス・電子回路製造業▲３３９億９,１００万円（同▲１１.５％）、情報通信機械器具製造業▲１２０億６,５００万円（同▲１４.６％）、輸送用機械器具製造業▲１００億４,７００万円（同▲２.７％）など８業種であった。

この結果、業種別構成比は、輸送用機械器具製造業２１.９％（３,５７１億４,７００万円）で最も大きく、はん用機械器具製造業１９.１％（３,１１１億８,０００万円）と続き、以下、食料品製造業１６.８％（２,７３０億３,９００万円）、電子・デバイス・電子回路製造業１６.１％（２,６２１億４,３００万円）という順になっており、これら４業種で全体の７３.９％（１兆２,０３５億９００万円）を占めている。

出荷額等の産業別割合



出荷額等と対前年増減率の推移



注1：「23」、「27」の数値は経済センサス‐活動調査の数値、その他の年は工業統計の数値である。
注2：「27」の製造品出荷額等については、個人経営調査票による調査分を含まない。

（県統計課）